

用語を学ぼう！

エシカル消費と関係のある用語を紹介!
この用語から調べてみるのもお勧めです。

【SDGs】

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の頭文字をとったものです。2015年9月の国連サミットで採択されたこの目標は17のゴール・169のターゲットから構成されています。詳細はP2を参照。

【気候変動】

気候変動とは大気の平均状態(気候)が様々な要因により、長い時間かけて変動することです。気候変動によって、いまだかつてない台風や異常気象などが発生しています。また、地球温暖化による気温上昇で都市や島の水没、感染症の拡大、農作物の不作による子供たちの栄養不良などをもたらすといわれています。

【ESG投資】

環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の頭文字をとったもので、地球温暖化対策、女性従業員の活用や地域社会への貢献、法令を守った企業活動など、3つの視点から投資を行う

ことをいいます。



が適正な価格で売買されること。
途上国を中心に生産者が買いたかれ、貧困に陥ってしまう問題があったことから、現在では、世界的な取組として広まってきています。

【オーガニック】

オーガニックは有機と同じ意味で使われています。農薬や化学肥料を使わないことを基本として育てられた野菜、果物などに使われる言葉です。最近では、農薬や化学肥料を控えた飼料で育てられた有機畜産にも使われるようになってきています。

【エシカルファッショント】

エシカルファッショントとは、生産者の安全や生活を守り、環境に優しいフェアトレード、オーガニックコットン、リサイクル等の素材を使用したファッショント。



監修者

頃内 ありさ先生

お茶の水女子大学附属高等学校教諭

●制作・著作／消費者庁 ●作成／株式会社日本リサーチセンター
●イラスト／オゼキイサム ●デザイン／坂上大
令和2年11月発行

消費者庁エシカル消費特設サイト
<https://www.ethical.caa.go.jp/>
Eメール：i.ethical@caa.go.jp



みんなの未来に エシカル消費



私たちの普段の買い物が、
世界の未来を変えるつてホント?
できることはたくさん!
早速探してみましょう。

消費者庁
Consumer Affairs Agency, Government of Japan



3日間で90世帯から捨てられた手付かずの食品

カカオ農園で児童労働させられている子供

インドのごみの山で働く少年

伝統工芸「藍染め」

生ごみで堆肥を作るコンポスト

日本で唯一継承される揚げ浜式製塩

エシカル消費ってなに？

エシカル^{*}消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動です。私たち一人一人が、社会的課題に気付き、日々の買物を通して、その課題の解決のために、自分で何ができるのかを考えてみるとこと、これが、エシカル消費の第一歩です。私たちが商品・サービスを選択する際に、「安心・安全」、「品質」、「価格」だけでなく「エシカル消費」という基準も大切です。

* エシカル(ethical) =倫理的な・道徳的な

エシカル消費こんなとき

商品・サービスを選択するとき

その商品は、誰がどこで作り、お店までどのように運ばれてきたのでしょうか。地球環境に優しいか、人の暮らしを守って作られているかななど、調べてから選びましょう。また、買わないという選択もエシカル消費です。



買物をするとき

必要な人が他にもいることを想像して、必要な分だけを買うようにしましょう。お店の人間に商品のことなどを聞くときは、相手の状況を考えて気持ちの良い態度で接しましょう。



買ったものを使う・処分するとき

世界では、人口の増加や気候変動の影響で、資源の枯渇が心配されています。一度使用した後もシェアやリサイクルなどをして、資源を大切に長く使いましょう。



SDGsとは？

貧困、紛争、テロ、気候変動など、様々な社会的課題の解決に向けて、世界中の様々な立場の人々が話し合い、解決方法を考えた「誰一人取り残さない」をキーワードに2030年までに達成すべき目標のこと。目標達成のために私たちができること、それがエシカル消費です。

関連するSDGs

12 つくる責任 つかう責任



つくる責任 つかう責任

持続可能な方法で生産し、消費する取組を進めよう。



1 貧困をなくそう



貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせよう。

4 質の高い教育をみんなに



質の高い教育をみんなに

すべての人が受けられる公正で質の高い教育の完全普及を達成し、生涯にわたって学習できる機会を増やそう。

8 働きがいも 経済成長も



働きがいも 経済成長も

児童労働などをなくし、すべての人が働きがいと十分な収入を得て経済成長することを目指そう。

10 人や国との不平等をなくそう



人や国との不平等をなくそう

国内及び国家間の不平等を見直そう。

14 海の豊かさを守ろう



海の豊かさを守ろう

魚の獲り過ぎ、水質汚染、プラスチックごみの投棄などで悪化した海の生態系を守ろう。

15 土の豊かさを守ろう



陸の豊かさも守ろう

開発による砂漠化や生物の絶滅を防ぎ、森林の保護・回復と持続可能な利用を推進しよう。

16 平和と公正をすべての人に



平和と公正をすべての人に

紛争やテロで命を奪われる人をなくすため、すべての人が法や制度で守られ、安心して暮らせる公正な社会をつくろう。

17 パートナーシップで目標を達成しよう



パートナーシップで目標を達成しよう

目標の達成のために必要な手段を強化し、持続可能な開発にむけて世界のみんなで協力しよう。

2 食物を安全に



3 すべての人に医療と福祉を



5 ジンジャー手帯を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーみんなにそしてクリーンに



9 食糧と農業技術の豊たらう



11 住み続けられるまちづくりを

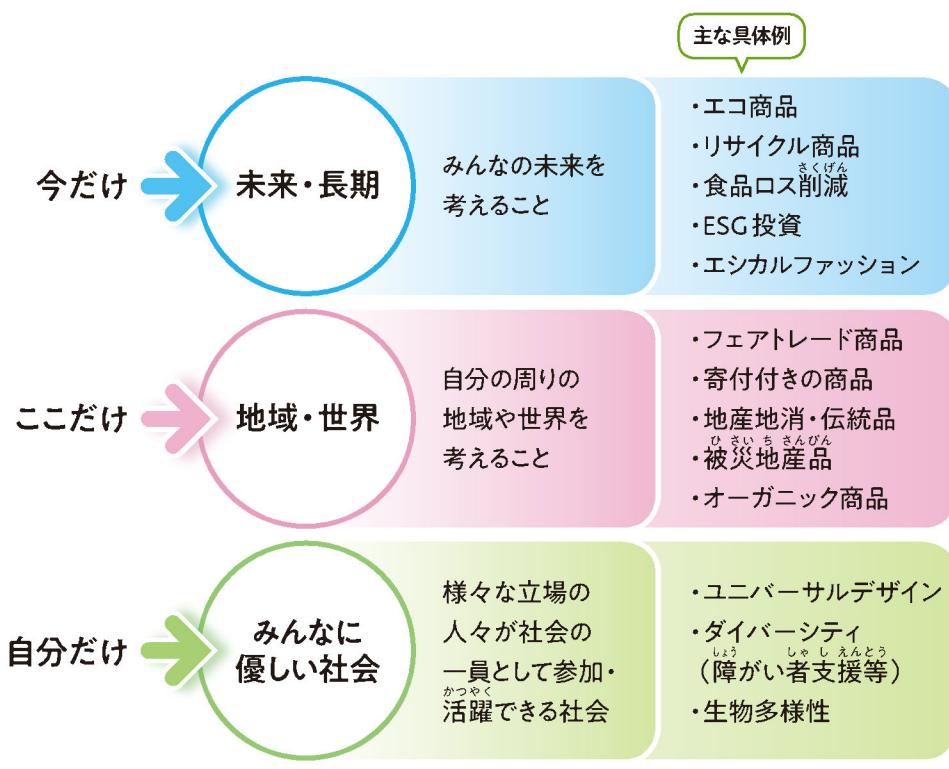


13 気候変動に具体的な対策を



引用・参考文献：日本ユニセフ協会「私たちがつくる持続可能な世界」

エシカル消費は今までと何が違う？



あなたの消費が世界の未来を変える！



エシカル消費への意識

エシカル消費に関する言葉の認知状況(複数回答)

その認知度は高い順に「エコ」「ロハス」「フェアトレード」。「エシカル消費」の認知度は12.2%にとどまるが、2016年度調査と比べると2倍以上に上昇している。

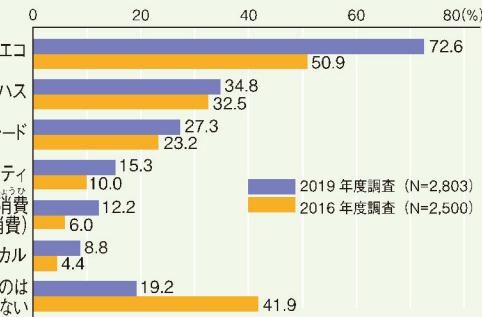
出典：消費者庁「エシカル消費(倫理的消費)に関する消費者意識調査」

調査期間………2020年2月19日～25日

調査方法………インターネット調査

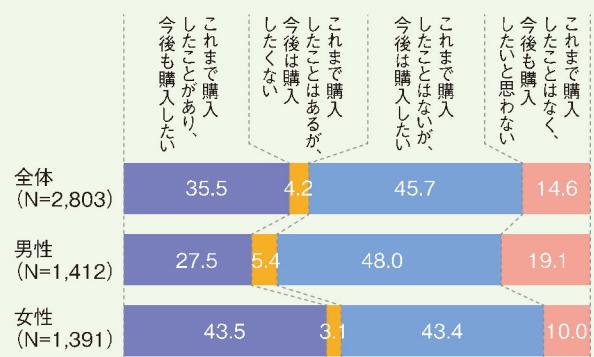
調査対象………全国の15～65歳男女

回収サンプル数………2,803



エシカル消費につながる商品・サービスの購入意向

全体では「今後も購入したい」「今後は購入したい」の計が81.2%に上る。性別では「購入したことがある」の計、「今後購入したい」の計が共に女性が男性を上回り、女性の積極的な姿勢が目立つ。



社会で起きている問題を知ろう！

食品ロスって？

食品ロスとは、食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。日本では、1日におにぎり1億2,000万個分に相当する食品ロスが発生しています。食品ロスを減らすために、まず私たちにできることは「おいしく食べること」や「必要な分を購入すること」。すぐに食べる食材を買うときは商品棚の手前から取る「手前どり」にもトライ！



12 フードロス
14 食べ残し

企業の取組事例

食料廃棄を楽しく解消、「クリエイティブクッキングバトル」の開催

● クックパッド株式会社・CREATIVE COOKING BATTLE 実行委員会

“ありモノからおいしい料理を作ることは生活の中で最もクリエイティブな行為である”をコンセプトに、残り食材を工夫して自由に料理する能力に焦点を当てたエンターテインメント型フードロス解消バトル。2020年は中高生が実行委員となり、オンラインで開催しました。



海洋プラスチックごみって？



12 フードロス
14 食べ残し



企業の取組事例

世界初の「完全循環型ペットボトル」を実現

● 日本コカ・コーラ株式会社、株式会社セブン&アイ・ホールディングス

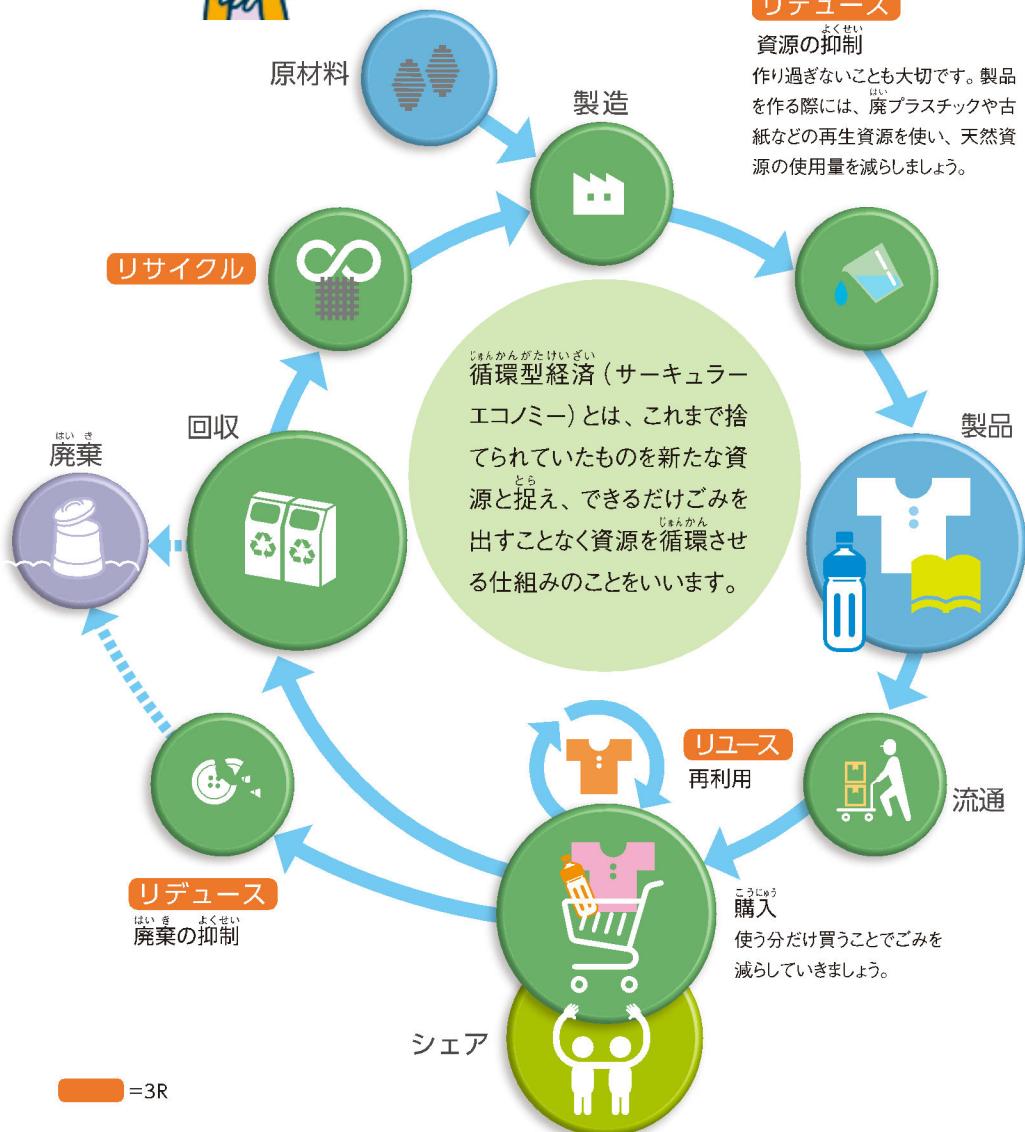
2019年6月に、セブン&アイグループ店頭でお客様から回収したペットボトル100%を原材料にした完全循環型ペットボトルを発売しました。これは、流通小売であるセブン&アイグループと容器の設計・リサイクルの優れた技術を持つ日本コカ・コーラとの業界を超えた連携で実現しました。



=3R



エシカル消費で循環型経済をつくっていこう！



生活の中で どんなエシカル消費ができる？

このパンフレットで知ったことを基に、それぞれの場面でできることを考えてみましょう。身近な商品のことを調べて選ぶ、無駄をなくすなどの小さなことでも、みんなでやれば大きな変化になります。

家庭で 	<input type="checkbox"/> 冷蔵庫の中を確認し食材を使い切る、また、料理は残さず食べ切る <input type="checkbox"/> 生活の中でプラスチックを減らす <input type="checkbox"/> 電気や水などの消費資源の無駄をなくす
学校・会社で 	<input type="checkbox"/> 周りの友達や同僚に学んだことを話してみる <input type="checkbox"/> 学校の授業や社員研修でエシカル消費を扱うよう働き掛ける <input type="checkbox"/> 給食や社食で持続可能な方法で調達された食材を扱うよう働き掛ける
買物で 	<input type="checkbox"/> ホームページでエシカル消費につながる取組をしているお店を探す <input type="checkbox"/> エシカル消費につながる商品を扱ってもらえるよう働き掛ける <input type="checkbox"/> 認証ラベル付きの商品を購入する
地域で 	<input type="checkbox"/> 地元の商店街で買物をする <input type="checkbox"/> 地域のルールに沿ったごみの分別を徹底する <input type="checkbox"/> 地元の農産品や伝統品を購入する

今日からできる！ こんなこと

今日から始められるアクション「3ステップ」を紹介します。まずは自分で調べてみる、分かったことを基に実際に行動する、やってみたことを周りにシェアするの3つにトライしてみましょう。

1 調べる

パンフレットにある言葉や問題の背景を調べて、新たな発見をしましょう。ポイントは、企業や行政機関のウェブサイトなど信用できる情報を参照することです。



2 行動する



調べたら、行動に移してみましょう。お店で認証ラベルのある商品や、長く使える商品を選ぶようにしましょう。買物をするときは必要なものだけを買うようにしましょう。

3 他の人とシェアする

良い情報はみんな知りたいもの。家族や友人に話したり、インターネットでシェアしたりして気付きを増やていきましょう。



認証ラベルを探してみよう!

みなさんが日常で使っているもの、食べているもの、住んでいる家などは、多くの自然素材や人々の手によって作られています。こんなラベルがどこに付いているか、買い物のときに探してみましょう。



認証ラベルは他にも多数あり、これらはその一例です。

エシカル消費につながる取組事例

CASE 1

FSCジャパンとグループ企業7社共同で、「FSC®認証材の調達宣言2020」を発表



- キリンホールディングス株式会社

キリンビバレッジは使用する全ての紙容器で2019年末にFSC®認証紙への切り替え100%を達成しました。さらに、多くの商品に認証ラベルを付けることで消費者に認証紙の容器を使った商品を選ぶ重要性を伝えています。



©FSCジャパン

CASE 2

途上国の雇用を生み出し、世界に通用するブランドをつくる

- 株式会社マザーハウス

途上国にある素材、職人の技術に光を当て、現地でモノづくりをし、日本及びアジア、フランスで店舗展開をしています。現地の工場や工房も全て自社で運営し、安定した雇用と安心・安全な環境を整備し、生産拠点と捉えず、家族であるという思想で運営しています。



バッグや革小物を生産しているバングラデシュのマトリゴール工場

CASE 3

飢餓や貧困に苦しむ子供たちへ学校給食を支援

- 日清食品ホールディングス株式会社

日清食品と日清食品冷凍は、途上国の学校に給食を提供する「国連WFPレッドカップキャンペーン」に2012年から参加し、対象商品の売上げの一部を寄付しています。



©Mayumi Rui